

平成 28 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長兼 CEO 兼 COO  
里 見 治  
(コード番号 6460 東証第一部)  
問 合 せ 先 執行役員財務経理本部長  
大 脇 洋 一  
(電話番号 03-6215-9955)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 380,000	百万円 20,000	百万円 20,000	百万円 10,000	円銭 42.66
今回発表予想 (B)	373,000	28,000	27,000	30,000	127.99
増減額 (B-A)	△7,000	8,000	7,000	20,000	—
増減率 (%)	△1.8	40.0	35.0	200.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	347,981	17,617	16,409	5,369	22.90

## ■修正の理由

主に、遊技機事業における収益性改善が進んだことにより、営業利益、経常利益が前回予想を上回る見込みとなりました。また、期中における固定資産の売却等の構造改革を進めた影響等により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を大幅に上回る見込みとなりました。

遊技機事業においては、足元の市場環境等に鑑み、最適な時期に効率的なタイトル投入を行うことを目的とした販売ラインナップの見直しを行った結果、主力タイトルを含む一部タイトルの販売を翌期に変更することから、パチスロ新作投入数は 11 タイトル（前回予想 12 タイトル）、パチンコ新作投入数は 9 タイトル（前回予想 10 タイトル）へと修正いたしました。併せて、パチスロ販売台数は 23.6 万台（前回予想：約 23.0 万台）、パチンコ販売台数は 13.2 万台（前回予想：18.2 万台）へと修正いたします。また、部材リユース等による原価改善のほか、研究開発費をはじめとしたコスト構造の改善等を背景に、収益性は前回予想よりも改善する見通しです。

エンタテインメントコンテンツ事業においては、海外向けデジタルゲーム分野において、東南アジアを中心とした、プラットフォーム事業等の立ち上げ・推進を継続しておりますが、本格展開時期が当初想定よりも後ろ倒しになる見込みです。なお、既存主力タイトル中心の事業展開を進めた国内向けデジタルゲーム分野をはじめ、パッケージゲーム分野、アミューズメント機器分野、アミューズメント施設分野等、エンタテインメントコンテンツ事業全般が前回予想と比べて堅調に推移しておりますが、下期においては、パッケージゲーム、アミューズメント機器・施設分野において新作タイトル投入に伴う営業費用等の発生を見込んでおります。

以上の結果、平成 29 年 3 月期通期連結売上高 3,730 億円（前回発表値と比較して 70 億円の減少）、営業利益 280 億円（前回発表値と比較して 80 億円の増加）、経常利益 270 億円（前回発表値と比較して 70 億円の増加）となる見込みです。また、上期における固定資産の売却や、10 月 31 日公表の子会社株式の売却等を実施した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 300 億円（前回発表値と比較して 200 億円の増加）となる見込みです。

（参考情報：セグメント別内訳）

平成 29 年 3 月期通期業績予想（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高	合計	380,000	373,000	△7,000
	遊技機事業	157,000	153,500	△3,500
	エンタテインメント コンテンツ事業	207,000	205,000	△2,000
	リゾート事業	16,000	14,500	△1,500
営業利益	合計	20,000	28,000	8,000
	遊技機事業	19,000	27,000	8,000
	エンタテインメント コンテンツ事業	9,000	9,500	500
	リゾート事業	△2,500	△2,500	—
	その他/消去等	△5,500	△6,000	△500

■今後の取り組みについて

当社グループは、2020 年 3 月期（平成 32 年 3 月期）に、中期的な経営目標として、「利益率の改善」および「資本効率の向上」を掲げており、2020 年 3 月期までに連結営業利益率 15%ならびに連結 ROA 5%（注）の実現を目指しております。

（注）ROA＝親会社株主に帰属する当期純利益÷総資産

当社グループにおいては、引き続き、上記経営目標達成に必要な検討を重ね、更なる利益率の改善および資本効率の向上を図ってまいります。

なお、配当につきましては、期末配当 20 円、年間配当 40 円の予想から変更はございません。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上